科目名	12．健康と生活				
履修年次	1年次	科目区分	基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （15時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ □ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 ☑ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	人々が健康を守るために必要な健康概念の変遷や生活と健康について理解することができる				
到達目標	人々の健康生活に関心を持ちながら、人々が健康を維持するための生活や生活行動、健康概念の変遷や人々の生活とホリスティックな健康について説明することができる				
評価方法	筆記試験（40点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（60点）による総合評価を行う				
使用 テキスト					
参考文献	系統看護学講座　基礎分野　文化人類学　医学書院				
教育方法と学生への期待 (求めること)	人々の健康を取り巻く社会や環境、人々が健康を維持するための生活や生活行動について理解して欲しい。また、健康概念の変遷や、人々の生活とホリスティック（身体・精神・社会・霊的側面）な健康について理解を深めて欲しい。健康は、人生をよりよく生きるために大切なことです。その健康を守ることが医療の大きな役割になります。まずは健康とは何かを理解し、地域社会生活や日常生活の中での人々の健康について考えていきます。そして、自分が考える健康を実際に体験することで、人々の健康と生活についての考えを深めて欲しい。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	健康の概念	健康とは（WHO健康の定義・ブレスロー・ラロンド） 健康概念の変遷	講義
2	様々な健康生活①	・ホリスティックとは・世界が抱える25の環境問題・5大環境問題・養護教諭の役割	講義
3	様々な健康づくり①	人間の健康についてコロナ病床から考える	講義
4	様々な健康づくり①	グループワーク①学校生活・幼少期と健康②環境と健康③食生活と健康④身体活動・睡眠（休息）と健康⑤社会的排除・社会的支援と健康⑥ストレスと健康⑦笑いと健康⑧労働・失業と健康⑨薬物（アルコール・たばこ）と健康	GW
5	様々な健康生活②		GW

6	様々な健康でくり②	職業と健康（看護職を中心に）	講義
6.5	特別講演	ハンセン病回復者・と支援者から学ぶ	講義
7.5	特別講演	ハンセン病回復者・と支援者から学ぶ	講義